

中高生のための読み聞かせ講座

- 日時 7月27日(木)
- 講義編 江刺生涯学習センター 204・205 研修室
- 実践編 江刺保育園
- 参加者 中学生2名 ・ 高校生3名



講師に「けやきの会」代表の及川典子氏をお招きし、江刺保育園のご協力のもと開催しました。

声の大きさや読む速さ、本の持ち方など、読み聞かせの基礎を講義で学び、実践会場の江刺保育園へ。

生徒みずから選んだ絵本を使用し、園児の皆さんの前で実際に読み聞かせを行いました。

参加した生徒からは、「保育士を目指しているので良い経験になった。」「実際に体験してみて改善点が確認できた。また機会があれば活かしていきたい」など、前向きな感想が寄せられました。

実践の場があったことで、想像とは違う新たな学びがあり、参加者それぞれが園児との交流を楽しみ、やりがいを感じたようです。

夏のふしぎなおはなし会

- 日時 8月3日(木) ■会場 江刺総合支所多目的ホール
- 参加者 親子19名 ■ボランティア 一般3名・高校生6名
- 読み聞かせた絵本 「つくもがみ」「こめとぎゆうれいのよねこさん」「あしによきによきによき」「あかてまるいの」
- 手遊び 「やおやさんゲーム」 ■上映作品 「ばけくらべ」



今年度も「けやきの会」の方と高校生に、ボランティアとしてご協力をいただき、入場路の装飾等雰囲気作りもしていただきました。

涼しく暗くした会場内に大きく映し出される絵本と、読み聞かせの声に参加者は「ふしぎな世界」に引き込まれ、暑い夏にはちょうど良い事業となりました。

映画は大人には昔懐かしく、子どもには新鮮な「ばけくらべ」を上映しました。

参加した児童からは「おもしろかった」との感想が多数寄せられ、「子どもが「絵本を読んで」とねだる気持ちがわかりました。」という大人側の声も寄せられました。

親子 de トライ! ~正月飾り作り~



- 日時 12月2日(土)
- 会場 えさし郷土文化館
- 講師 野坂 晃平氏
- 参加者 親子5組



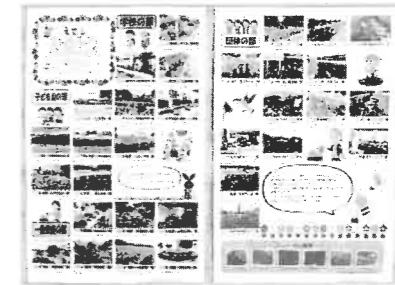
今年度から新たに親子体験学習事業を行うこととし、今年は、「正月飾り」に焦点をあて、えさし郷土文化館の協力をいただき開催しました。

「正月飾り」の意味や地域による違いなどについての講話を聞いた後、実際に縄を編むところから始め、松や水引きなどで飾り付け、しめ縄飾りなどを作りました。

皆初めての体験で縄を編むのに苦労する場面もありましたが、楽しく出来たようです。

えさし花いっぱいガーデン

- 展示 江刺生涯学習センターと地域内11ヶ所
- 日時 7月3日(月)より参加受付開始
- 応募数 32点
 - ・学校の部 5点
 - ・子ども会の部 6点
 - ・団体の部 14点
 - ・一般の部 7点



ご応募いただいた写真を花だん造りのコツや、工夫した点等のコメントと共に印刷し、展示しました。

たくさんの人に見ていただけるように、市ホームページからも閲覧できるようにアップロードし、市公式 SNS (X、Instagram、Facebook) を活用した事業周知も行いました。

江刺子どもリーダー研修会

- 日時 12月23日(土)
- 会場 江刺総合支所 多目的ホール
- 参加者 江刺地域内の小学5年生20名
- ボランティア 岩谷堂高校生5名
- 内容



研修1 レクリエーション
高校生が主体となり「〇×クイズ」(全体)と「アキネータークイズ」(班)を行いました。

研修2 ワークショップ
奥州市未来羅針盤課の菊地徳行氏を講師に招き、「自分たちが住み続けたい町ってどんな町?」をテーマに行いました。未来羅針盤図の動画を見た後、色々なアイデアを出しあい、分類し、班ごとに一枚のマングラチャート(目標達成シート)を作り上げました。

発表 魅力ある町づくりについて、一人一回マイクを持ちみんなの前で発表しました。



テーマを通して、小学生に町づくりについて考えてもらいたいと企画しました。当初小学生には難しいのではないかと考えられていましたが、高校生のサポートもあり、大人では考えつかないようなアイデアや、今の奥州市に通ずるもの等考えさせられることが多く、事業をすることができて良かったと感じました。

研修で作成した成果物は、江刺生涯学習センターに掲示し、市民の皆さんに見ていただきました。

